

鷗 友

東京都立白鷗高等学校同窓会 鷗友会

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-22 都立白鷗高校内 TEL 03-3844-4284 FAX 03-3844-4284 振替 東京 00180-7-3052 会費用 振替 東京 00100-8-34659 一般用

「四知」

鷗友会理事長 土屋 雅 司

今号から、本間前理事長を引き継いで、私が巻頭を飾らせていただくことになりました。とは言え、日頃はIT企業向けの研修の営業や講師など実務的な活動が殆どであり、前理事長と同じ様な格調を維持することは非常に困難と思ひ、書き出すまで一体何を書けば良いのか悩みました。そして、無理をしても次回に困るだけだから、あるがままにこの決意を致しました。

第一回目は“好きなもの”でいいと思います、皆様にお読みいただけるか不安を感じながら書き始めたいと思います。

昔から好きなものの第一は読書でした。それも乱読であつて、面白そうであれば手当たり次第、買い集めたり図書館で借りたりして、一応、趣味は読書と言えるのではと考えています。

好きな作家は何人か居り、出来る限りその作家の著作を集中して読みますが、様々な著者の同じテーマを扱った小説で大好きなのは、三国志の世界です。吉川英治や柴田錬三郎など、何人かの方がお書きになつていますが、最近宮城谷昌光さんの大力作があります。平成13年に「月刊文藝春秋」で連載が開始され、平成25年に連載が終了しました。12年間、発売された単行本にして全12巻という大作でした。

この第一回は「後漢書」の中に書かれている「四知」という言葉から始まつています。この言葉は、後漢の宰相にまで登りつめた楊震という人の言葉であり、天・地・我・汝の四者が何事も見ているという意味であり、楊震が、地方巡察の折に、賄賂を誰も見てはいないからとすめられたが、天も地もは当然で、私もあなたも知っている、誰も知らないということがあろうかと、決然として断つた際の言葉だということです。

最近も、相変わらず政治の世界を始めとして、社会で不正のニュースが絶えないようです。折角の知事の椅子を投げ出さざるを得ない例や、膨大な借金の使い道にお西様の熊手を掲げるなど、私達にとつては遠い世界かもしれませんが、決して無縁ではない世界で、是非「四知」という言葉を理解して欲しいと思う時があります。

我が身を振り返ってみても、つい、誰も見ていないからということ、路上にゴミを捨てたりすることがありますが、やはり後ろめたい気が致します。

この話を書いてしまった以上、天にも地にも、又、他人にも恥ずることなく、生きていきたいと考えております。

平成二十六年度

鷗友会総会の御案内

本年度の会場は、上野公園内の上野精養軒に設定しました。総会終了後、真打に昇進された桂やまと師匠の落語をお楽しみいただき、その後お食事をしながら和やかな楽しい時間をお過ごし下さい。どうぞお誘い合わせの上、大勢の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

記

日時 平成二十六年七月六日(日)

十一時三十分より(受付開始午前十一時)

会場 上野精養軒 3階「桐の間」

台東区上野公園四一五十八

電話 〇三―三八二―二八一

会費 八、〇〇〇円

(白62回〜白66回卒業の会員は四千円)

落語 三代目 桂 やまと(白45回 田中秀樹)

東京都荒川区西尾久 出身

都立白鷗高校↓中央大学(心理学専攻)

平成11年 大学卒業後、桂 才賀に入門

平成15年 二ツ目昇進。「才紫」と改名

平成26年 3月 真打昇進

三代目 桂 やまとを襲名



★ご出席の方は郵便局の振替用紙に会員番号、氏名、「総会出席」と明記の上、**6月18日(水)必着**で会費をお振込み下さい。
振替口座番号 東京 00100018134659 加入者 鷗友会

白鷗祭のお知らせ

9月20日(土)・21日(日)に母校で開催されます。

鷗友会をもっと広く知っていただくようと、昨年同様、3階の鷗友会事務室に、記念誌・卒業アルバム・旧制服をはじめ多数の資料を展示し、お茶とお菓子を用意してお待ちしております。是非、ご来室下さい。

鹿野山清和寮

校長 若 井 文 隆

白鷗高校に着任し、三年目を迎えました。この間、鷗友会の皆様には、日ごろより本校の教育活動に御支援と御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

四月八日に平成二十六年度の入学式を挙行いたしました。附属中学校に百六十人、高等学校に二百三十九人の生徒を新たに迎え入れました。入学した生徒一人一人が大きな夢と希望を胸に、白鷗生としての自覚と誇りをもって活躍してくれることを大いに期待しています。

さて、「鹿野山清和寮」同窓生の皆さんにとって懐かしい響きだと思えます。現在後援会が管理していますが、利用しなくなつて約十年が過ぎようとしています。その清和寮に三月末に後援会の寺嶋理事長を初め、理事の方々と視察に行きました。建物の周りは草木が生い茂つており、特に玄関からグラウンドに行く道は、草木を掻き分けないと前に進めないような状態でした。また、グラウンドも草木が生い茂つていたもののまだ十分活用できる状態でした。肝心な建物ですが、外壁は一部塗装がはがれていました。中は、今まで生活していたものが多く残っており、生活感を感じました。内壁にも一部塗装のはがれがありました。想像以上に状態はよかったです。正直、このまま放置しておくのもつたない気がしました。すぐ近くに習志野市の施設があり、こと上手く連携を図り、少しでも活用できる道がないものかと思ひました。卒業生の皆さんも建物の中に入ることはできませんが、是非一度、懐かしい思い出を辿る意味も含めて訪れてみてはいかがでしょうか。

結びに、これからも鷗友会の皆様全員が我が母校として誇りに思える学校であり続けるために、教職員一同で魅力ある教育活動を邁進していく所存でございます。そして、従前にも増して、御支援と御協力を賜りますことをお願い申し上げます。

申し上げますとともに、鷗友会の今までの御支援に心より感謝申し上げます。

◆白鷗高校・附属中学校◆

◇平成26年度 客員消息◇

退職

末廣 佳子（世界史）
寺嶋 数雄（数学）
赤上 武（数学）
末延 昭二（国語）

転任

須永 修爾（副校長）
川島 勇行（地理）
岡田 明彦（数学）
戌亥 学（英語）
小林 一郎（数学）

着任

清水 智之（副校長）
福山 一雄（世界史）
蓑田 和正（地理）
国領 崇史（数学）
近藤 由美（数学）
高谷 知香（数学）
小畑 暁子（国語）
鎌田 孝司（数学）

◇進路部より◇

進路部主任 瀧 島 昭 克

中高一貫4期生231名も無事卒業し、それぞれの進路先での新たな生活が始まりました。卒業後、私服で学校に来たときの楽しげで誇らしげな顔を見ると、先輩たちの頑張りを見続けながら白鷗高校で生活してきた結果が今なんだと実感します。

合格実績ですが、後記の表の通り、白鷗高校での頑張りを十分に発揮してくれました。また、卒業後の進路先ですが、4年生大学進学者数は182名（国公立大43名、私立大139名）、短

期大学3名、専門学校9名、就職2名、今年度再チャレンジとなる浪人生35名です。

卒業生自身の努力と保護者の方の暖かいサポートがあつてこそその結果であつたと思います。白鷗生活3年間または6年間で得たものをこれから活かして活躍してほしいと思います。

	1期生(浪人生)
東京大学	5
京都大学	
東京工業大学	1
一橋大学	1
早稲田大学	39 (4)
慶應義塾大学	8
上智大学	8 (1)
東京理科大学	15 (2)
学習院大学	9
明治大学	45 (6)
青山学院大学	18 (2)
立教大学	35 (1)
中央大学	9 (2)
法政大学	49 (4)

【大学生の皆さんへ】

夏休みに中学生1・2・3年生に講習・補習を行います。今年も講習・補習のお手伝いボランティアを募りたいと思います。詳しくは白鷗高校のホームページにお知らせをのせる予定です。（6月中旬以降アップする予定です。）

次世代リーダー育成道場に参加して

614 宮 本 明 佳

昨年度、私は東京都が都立高校生を対象に主催する次世代リーダー育成道場に記念すべき第一期生として参加することができました。これは東京都が未来の日本を背負うリーダーの育成を目的としています。そのために選抜した高校生たちに対して、能や歌舞伎などの日本の伝統芸能の鑑賞や著名人による講義、英会話の講習といった様々な事前研修を通して必要なスキルを身につけさせます。その上で、アメリカやオーストラリアなど英語圏の国へ短期留学をさせるという制度です。

私がこの研修に参加したのは、高校生の間に

海外へわたり英語力を高めることで、自分に自信を持って世界へ羽ばたくという夢を実現する第一歩になると思つたからです。この渡航に際し、鷗友会から奨学金の給付を受け、それを道場受講料の一部に充てさせていた、きました。そしてアメリカでは、私にとって思い出に残る数多くの体験ができました。

例えば最も印象に残っているのが、滞在先のボストンで訪れたハーバード大学です。初めて門をくぐり敷地内に足を踏み入れた時、世界の知を生みだすその洗練された空気や荘厳な建造物群、そしてその中に自分が身を置いているという事実に、この上ない高揚感を感じました。この他にも、ホストファミリーとの会話や現地高校での授業などを通して、自分のコミュニケーション能力を向上させ、改めて世界という大きな視点から自分を見直すことができました。それと同時に、白鷗生の代表としてこのような研修に送り出してくれた学校の先生方、両親、そして奨学金という形で支援してくれた鷗友会の皆様に、心から感謝したいと思ひます。そして大学に入つたらもう一度海外へ留学して、今度は英語だけでなく専門的な知識も学びより自分を高めていきたい、と決意を新たにしました。

違いを知ること

516 合 田 拓 矢

ワシントンのダレス空港に到着し、飛行機の窓から外を見るとそこにはアメリカの夏の青空が広がっていました。飛行機を降り入国審査と税関のある建物へ向かうバスの中で、僕はまさに始まるうとしていた留学生活への期待と不安が入り交じっていました。これからどんな留学生活が始まるのだろうか？新しい学校で仲のよい友だちができるだろうか？それ以前に新しい生活に馴染めるだろうか？様々な思いを抱えながらターミナルに入ると「Welcome to the United States」の文字が目に見え込んでき

ました。その時僕はいかに始まるんだと、心の中であいたのを覚えています。

2012年の夏、東京都の取り組みである次世代リーダー育成道場が開校し、僕達1期生は半年ほど英語や日本の文化などの研修に取り組みました。昨年の3月にはアメリカに3週間滞在し、前半はボストンで英語の集中トレーニング、後半はペンシルベニア州ランカスターに移動して、現地校に通い授業を受けました。そして迎えた昨年8月、ついに僕達1期生のアメリカ約50人がそれぞれの1年間の留学へと飛び立ち、僕自身は3月と同じランカスターで、Veritas Academyでバックリスタチャー・スクールに通っています。

アメリカでの生活がスタートすると、日々新しい気付きのあるとても新鮮なものになりました。日本にいたときには当たり前だったことがアメリカでは当たり前ではなかったり、その逆にも出くわしました。考え方の違い、生活習慣の違い、教育システムの違いなど様々な違いを経験するなかで、僕は異なる環境に身を置くことの大切さを強く感じています。例えば、こちらでは僕の周りにいる人々の多くがクリスチャンで、彼らの世界観は僕達のものとは異なります。世界観の違いを知るなかで、僕たちはどんなふうに物事をみてるのだろう、と日本にいたときは考えもしなかった疑問を持ちました。日本から飛び出したことで初めて自分のいた世界を外から眺めることができ、僕達自身のことについて見つめ直すきっかけとなりました。

最後に、この素晴らしい経験は周りの人々の支えがあつてのことで、感謝の気持ちでいっぱい。両親、先生、友達、鷗友会、みなさん本当に有難うございます。

《平成26年度 鷗友会評議員会》

平成26年4月19日(土) 午後1時30分
於 白鷗高校2階会議室

温かな風がそよぐ散歩日和の午後、新評議員

7名を含む67名の方がお集まり下さいました。卒業後5年目までの方が16名参加くださり、活気あふれる評議員会となりました。

司会の松浦副理事長による開会の辞に続き、昨年度の総会で本間前理事長の後任となられた土屋理事長より、若い世代をもっと引き込み鷗友会の土台を作っていくような事業に取り組み、と決意を新たに挨拶いただきました。浅草流鏑馬へ生徒を引率される若井校長に代わり、清水智之新副校長と附属中の造作聡美副校長がご出席くださり、鷗友会が築いてきた伝統をしっかりと背負い生徒と向き合っていく、とお話くださいました。



規約により土屋理事長が議長となり、次の項目を審議しました。

一、平成25年度 事業報告 土屋理事長

・総会 理事長交代

・白鷗祭参加

・奨学金 鷗友奨学金14名・東京都次世代リーダー 研究学生2名に交付

・学業奨励 図書カードを新入会員222名・皆勤者19名に贈る

・規約改定 特別顧問設置

二、平成25年度 決算報告 杉山理事

・監査報告 間野監事

三、平成26年度 事業計画 土屋理事長

・総会 7月6日 上野精養軒

・白鷗祭参加 9月20日(土)・21日(日)

・「鷗友」160、161号発行 27年度からの会報のあり方を検討

・奨学金 鷗友奨学金・東京都次世代リーダー研修生

・法人化検討

・卒業アルバムデータのデータ化

四、平成26年度 予算案 杉山理事

以上の議案は満場一致で承認されました。

五、その他

・埼玉支部 野村路子さん、湘南支部 有賀幸子さん、東葛支部 中野愛彦さんから、各支

部の活動の様子が報告されました。

・出席された新入会

の評議員の坂井航

佑さん、柳 汐里

さん、山口航平さ

ん、江田翔太さ

ん、大橋汐里さん

にご挨拶いただき

ました。中高一貫

の6年間皆勤の方

が2名もいらしたことに、会場から驚きの声

ががりました。

・土屋理事長就任に伴い新たに副理事長とな

れた大和英之さん(白26回)、大和さんの副理

事長就任に伴い新監事となられた津久井慎一

さん(白26回)、退職された立崎さんに替わり

新事務局職員となられた須藤みゆきさん(白

43回)の紹介がありました。

理事会も少しずつ顔

ぶれが新しくなり、

法人化検討や卒業ア

ルバムのデータ化な

ど時代に即した活動

を行う一方で、長い

歴史のある鷗友会の

あり方をしっかりと

検討し伝統を守るこ

とも心がけていき

たい、と土屋理事長が

お話しされ、松浦副理事長の閉会の辞で閉会と

なりました。

《新任のご挨拶》

▽この度、副理事長を拝命致しました白鷗26回の大和英之でございます。会員の皆様にご満足頂ける活動を心がけて参りたいと存じます。皆様の暖かいご支援、ご協力を賜れば幸いです。白26回 大和英之



▽40年ぶりに母校を訪れ、時の流れの速さに驚きました。上野駅から長恨歌を必死に暗唱しながら、登下校した頃が懐かしく思いました。今般監事を拝命し、微力ながら務めさせて頂く所存です。白26回 津久井 慎一

▽卒業後23年を経て再び母校に通い、鷗友会事務局のお手伝いをさせて頂けることに大変嬉しく思っております。鷗友会のさらなる発展に少しでもお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

白43回 須藤 みゆき

◇新評議員

白66回	1組	坂井 航佑
	2組	保井 暁
	3組	榊 汐里
	4組	山口 航平
	5組	及川 泰司
	6組	江田 翔太
	"	大橋 汐里
白25回	1組	中島 裕子
	3組	小林 真理子
白52回	1組	中上 聡夫(交代)

【同窓会開催のお知らせ】

1992年卒(白44)同窓会を開催します。
日程：2014年8月16日(土)
時間：一次会14時〜 / 二次会18時〜
(時間は予定、場所・会費は未定です。)

現在Eメールで参加意思確認を行っております。出欠をEメールでお知らせください。折り返し幹事よりご連絡します。

(未定でもご連絡頂けると幸いです。)

連絡先：hakuo1992@gmail.com

回答期限：6月30日(月)

幹事代表：丸岡 宏・森下典子・内藤佳知・

早川勝久・小沢勝弘

【川崎支部】

今回に林きぬ子(57回生)先生も出席され、高齢の先輩の方々太田信恵(49回生)さん、市川之子(54回生)さん、後藤ミヨ子(57回生)さん、河井秀子(57回生)さんを含めて参加者21名、その内初参加者は8名でした。

林きぬ子先生の乾杯で会は始まり、美味しいフレンチ料理の食事をいただきながら、話も弾みなかなか雰囲気の中初参加者の自己紹介をしていただき、会は一層盛り上がりました。

太田信恵(49回生)さんのご挨拶をもって再会を約し散会しました。

支部会は縦組織の組織になっており、年齢層が広く偏ることがなくターゲットを絞ることは難しく若い参加者の意見を取り入れながら、これから多くの方々に参加していただくために、今後この問題を解決しながら支部会を開催したいと思っています。

これからも隣接する地域の皆様により多くの参加を望んでおりますので、次回にはぜひお出かけくださる事を願っております。

《庶務日誌》

10月29日	鷗友159号宛名データー作成
11月15日	同窓会事務局と発送打ち合わせ
11月16日	評議員継続確認作業開始
	理事会(副理事長候補 大和監事
	監事候補 津久井愼一、法人化検
	討)
11月25日	鷗友159号発行 16938通
11月29日	リーダー研修生に原稿依頼

3月8日 皆勤者19名 新評議員7名
理事会（監査準備 評議員会準備
総会準備）

3月21日 附属中学卒業式 土屋理事長出席
4月8日 白鷗高校・附属中学入学式 松浦
副理事長出席
会計監査実施

4月13日 創立高校同窓会連絡協議会に松浦
副理事長出席

4月15日 須藤みゆき新事務員勤務開始
4月19日 理事会（鷗友160号 評議員会
評議員会

◇特別顧問設置についての規約改定
昨年（の）総会において 特別顧問の設置を決め
規約を改定しました。

第5条 2項 前項に定める役員のほか、特別
顧問を置くことができる。

第6条 2項 特別顧問は、評議員及び理事会
が推薦し、総会で承認を得る。
この改定により 本間皓司前理事長と林きぬ子
前評議員が 特別顧問に就任いたしました。

逝去された方々
左記の方々の御冥福を
謹んでお祈り申し上げます。

[illegible][illegible]

準高66	高19	高16	高15	白44	白39	白29	白27	白19	白19	白18	白16	白14	白14	白14	白11	白9	白9	白9	白9	白8	白8	白8	白7
				8	8	8	7	7	3	3	2	5	4	3	3	8	5	3	1	8	6	3	2
高橋	和田	朝比奈	浅井	藤井	伊藤	町田	藤田	丸山	平山	門脇	竹脇	鵜飼	山口	伊藤	小浅	田古	八野	川崎	吉川	亀川	中村	松村	橋
和子	明子	嘉子	晃子	洋子	典子	和久	ゆみ	孝純	一子	純子	純子	檀	三夫	俊夫	敏義	嘉明	偉夫	公	昌	忠	光	達	江子
23	26		25	25	24	20	25	24	26	25	25	24	25	25	24	25	25	25	25	25	25	25	25
5	1		11	7	11	7		10	1	9	4	1	2	10	12	3	9	9		10	11	6	6
26	15		30	20		31		3	31	11	22	5	25	29	11	29	15			15	24	30	29

◆寄贈物品（敬称略）

白3回 小栗 茂子
CD「いつまでも心に歌声を」1枚
白16回 大澤 健次郎
「校友」45号・46号・47号
1962年、63年 神代マラソン大会
入賞メダル 各1個
白43回 立 崎 さゆり

『ホワイトタルのご案内』

ホワイタル・ウィンド・アンサンブルとは、白鷗高校吹奏楽部のOBを中心にして活動している吹奏楽団体です。

年に一度の定期演奏会を目指して、月に3回程度、主に西新井のギャラクシティ内にあることも未来創造館で練習をおこなっています。

今年度は11月23日(日) 西新井文化ホール(ギヤラクシテイ)での開催を予定しています。一緒に演奏したい方を常時募集しています。楽器に久しく触っていない方でも大丈夫です。興味のある方は、メールでご連絡して頂き、お気軽に見学にいらして下さい。

また、吹奏楽部OB会としても会報を無料でお送りしていますので、届いていない方は是非メールでご連絡下さい。

お問い合わせはメールアドレス・・・
kazuo_wrightull@yahoo.co.jp

ホワイタルホームページ

<http://whightull.web.fc2.com/>

鷗友会から会費納入のお願い

今号に会費納入用振込用紙が同封されている方は会費の納入をお願いいたします。すでに納入された場合はご容赦ください。